

蘭学・洋学 ^{さんしん}三津同盟 締結調印式の報告について

担当：歴史博物館 高崎・曾我（電話 0979-23-8615）

令和3年11月18日、岡山県津山市の津山洋学資料館にて、岡山県知事立ち合いのもと、岡山県津山市と島根県津和野町とともに「蘭学・洋学 三津同盟」を締結しました。

蘭学・洋学 三津同盟とは

優れた蘭学者・洋学者を輩出した、共通の歴史的背景を持つ中津市と、岡山県津山市・島根県津和野町（いずれも津がつく）は、相互に連携・協力して学術や知的観光を振興し、共通のアイデンティティである「蘭学・洋学のまち」を積極的にプロモーションするため、「蘭学・洋学 三津同盟」を締結・調印したものです。

締結調印式のご報告

日 時：令和3年11月18日（木）

場 所：岡山県津山市の津山洋学資料館

来 賓：岡山県知事 伊原木隆太

参加者：中津市長 奥塚正典、津山市長 谷口圭三、津和野町長 下森博之

（各自治体より、文化財関係・観光関係の職員が参加）

18日は、津山市のご案内で、洋学資料館をはじめ、津山城、箕作阮甫旧宅などを見学。

15時30分より、ホールにて調印式に臨みました。

学術や観光振興により大きな効果がえられるよう、優れた蘭学者・洋学者を輩出した歴史的背景が共通する市町が連携しシティプロモーションに取り組むことを確認しあいました。

中津市長より「お互いを紹介することで、中津の価値があがるようにしていきたい。三市町で連携して偉人を活かした取り組みを行っていきたい。」との発言がありました。

締結内容

1. 博物館・資料館の交流と共同研究の促進
2. 知的観光の振興と多分野交流の促進
3. 連携協力による広報活動の展開

今後の事業展開

本格的な事業展開は、来年度（令和4年度）以降となります。

令和4年度は、蘭学・洋学関連施設の職員によるシンポジウムを津和野町で開催します。令和5年度は、三市町ゆかりの蘭学者が関わっている明六社が結成150周年を迎えることから、その記念企画展を共同開催します。明六社とは、明治6年に結成された日本最初の学術団体であり、文明開化期の庶民の啓蒙に貢献しています。

現段階で事業内容が定まっているのは、ここまでですが、それ以降についても、今後、三市町で協議する予定です。

*その他の企画として、三市町の物産展、各市町の広報誌への特集記事掲載、庁舎ロビーなどでのパネル展示、各ケーブルTVで互いの市町を紹介し合う…などを検討中。

*明六社：日本最初の学術団体。明治6年（1873）森有礼^{ありのり}が、福澤諭吉・加藤弘之・中村正直・西周・津田真道らと結成。機関誌『明六雑誌』を発行、開化期の啓蒙に指導的役割を果たしたが、明治8年、機関誌廃刊により事実上解散。なお、福澤は中津市、西は津和野町、津田は津山市の出身者。

当日の様子。ご希望の写真を提供させていただきます。

